

【施設状況】

グループ名称	信更公民館								
指定管理者名	信更地区住民自治協議会					法人番号	3700150020765		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3304	信更公民館							
	3160	信更公民館高野分室							
施設分類	01	企画型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	講義室 1、和室 1、調理室 1、大会議室 1、図書室 1								
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業 								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	信更地区住民自治協議会			指定回数	2 回	
指定期間	平成30年4月1日	～	令和5年3月31日	5年	管理運営開始日	平成27年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
	本館利用者数	人	4,591	4,685	5,167	4,470	87%	
	本館利用率	%	13.2	13.8	14.3	10.5	73%	
	分室利用者数	人	1,248	769	902	902	100%	
	分室利用率	%	2.2	1.0	1.2	0.6	50%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・信更公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・信更公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務 ・信更公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務 						
	自主事業							
サービス維持・向上の取組み (広報等)		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館報 4回/年 発行。ホームページの更新で情報発信を行い、公民館活動の広報に努めた。 ・講座の開催等は、チラシを作成して全戸配布 11回/年、来館者への積極的な声掛けを行い新規利用者の増加につなげた。 						

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
利用者からの評価・要望・苦情等	(2) 調査、会議等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用へは、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。 		
	(3) 調査、会議等の結果	【実施した各学級講座のうち3講座を抜粋】 「おぢや震災ミュージアム そなえ館で震災について学ぶ」 募集30人 受講者31人中19人から回答 満足:100% 「ガーデニング講座」 募集60人 受講者30人中27人から回答 満足:100% 「しめ縄づくり」 募集40人 受講者33人中15人から回答 満足:93.3% やや満足:6.7%		
	(1) 良好とする評価	「おぢや震災ミュージアム そなえ館で震災について学ぶ」 災害に備えて学ぶことにより地域防災の大切さを実感したと好評であった。 「ガーデニング講座」 受講者からの要望で開催した講座で、講師の説明もわかりやすく好評であった。 「しめ縄づくり」 小学生と一緒に地元の講師から伝統の注連縄を作成する講座であり、講師の説明もわかりやすく好評であった。また、親子学級の餅つき大会を併せて行ったことにより、大変賑やかな講座となった。		
	(2) 苦情・改善等の要望事項			
	《対応措置》			

4

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	12,166,000 1,140,000	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	12,166,000 1,089,072	歳入	使用料 雑(納付金) <small>行政財産目的外使用料</small> 貸付料 その他	2,360 600 	
計	13,306,000	計	13,255,072	計	2,960	計	0		
支出	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	6,843,048 842,880 300,000 1,299,906 935,323 1,909,743 1,175,100	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	6,721,375 965,606 209,000 208,415 1,180,896 742,990 1,843,716 465,100	歳出	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	12,166,000 220,000 	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	11,903,000 297,000
計	13,306,000	計	12,337,098	計	12,386,000	計	12,200,000		
自主事業	収入 支出 自主事業損益	 0	収入 支出 自主事業損益	 0					
損益	0	917,974	差引	-12,383,040	-12,200,000				
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								54.5%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(0人)、主事1人(1人)、事務職員1人(1人)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価			
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 地域行事に積極的に参加し、住民との連携を図る。 2 地公委員会の事務局として地域公民館の要となり、地域公民館の相談に対応し連携を図る。 3 住自協の他の団体と共催して事業を行い、地域全体と連携を図る。 4 講座の講師は、地元から積極的に採用し、地元の人材を活用する。 5 地域・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	1 地域行事に積極的に参加し、住民との連携を図る。 2 地公委員会の事務局として地域公民館の要となり、地域公民館の相談に対応し連携を図る。 3 住自協の他の団体と共催して事業を行い、地域全体と連携を図る。 4 講座の講師は、地元から積極的に採用し、地元の人材を活用する。 5 地域・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
1 地域行事に積極的に参加し、住民との連携を図る。 2 地公委員会の事務局として地域公民館の要となり、地域公民館の相談に対応し連携を図る。 3 住自協の他の団体と共催して事業を行い、地域全体と連携を図る。 4 講座の講師は、地元から積極的に採用し、地元の人材を活用する。 5 地域・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。				

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由	継続して実施している「しめ縄講座」は、小学生と地域の人と一緒に学びながら正月飾りを作成し、地域文化の伝統を継承する講座となっている。講座終了後は、参加者の交流を図るため杵と臼でもちつきを行い、参加者から好評を得た。他の事業においても事業後のアンケート結果が好評であることを評価し「利用者評価」を「4」とした。
------	--

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	新しい生活用様式を取り入れ、質の高い施設活用、利用者サービス及び地域と連携した事業の実施に努めてほしい。
---------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・来館者への積極的に声掛けし、図書室や講座への勧誘を行った。
- ・利用者要望を吸い上げ、フレイル講座や信更地域在住の植物研究者を取り上げたパネル展示等、地域住民等と連携した新たな講座を企画・実施した。

② 業務の効率化に対する取組み

職員全員での情報共有により、講座運営と利用者との連絡をスムーズに行う。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

地域の高齢化に伴い、公民館(講座)への足の確保が難しくなっている。そのため、社会福祉委員会が実施する事業との共催や開催日、開催内容の工夫が必要。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

地域の高齢化に伴い公民館利用者が減少しているが、小・中学校や民生児童委員会が主催する「お茶のみサロン」等と積極的に連携したことで、集客が図られ、充

② 次年度以降の取組み

住自協の役員との情報交換を心掛け、常に情報を入手し講座に役立てる。住自協との事業と公民館事業の重複を検討し、住民が参加しやすい時期に設定し、充実させる。